

茨城の 土地改良

発行所

茨城県土地改良事業団体連合会

水戸市宮内町3193-3

電話 029-225-5651(代)

FAX 029-225-5239

編集兼発行人

葉 梨 衛



第10回大好きいばらきミドリン(水土里)子ども絵画コンクール入賞作品 茨城県土地改良事業団体連合会会長賞
「みんなと稲」守谷市立松前台小学校 秋元 絢之介

目 次

就任・新年度のご挨拶 (会長 葉梨 衛、専務理事 根本 力、農林水産部長 今野 憲太郎、農地局長 石井 昌広) …	1
連合会第61回通常総会開催 ……………	6
平成31(2019)年度 第1回理事会開催 ……………	7
農業基盤整備資金の金利改定について ……………	7
全国水土里ネット総会及び表彰式開催 ……………	8~9
平成31(2019)年度 茨城県土地改良事業団体連合会事務局機構図 ……………	10
「平成30年度農業農村シンポジウム」の開催 ……………	11
平成30年度多面的機能支払交付金 技術研修会・優良活動事例発表会 ……………	12
土地改良区の維持管理計画の変更手続の簡素化について ……………	13
全国水土里ネット主催「ふるさとの田んぼと水」子ども絵画展2018 ……………	13
第10回大好きいばらきミドリン(水土里)子ども絵画コンクール表彰式の開催 ……………	14
県農林水産部農地局の人事異動 ……………	15
連合会の人事異動 ……………	17

就任・新年度のご挨拶



茨城県土地改良事業団体連合会
会長
葉梨 衛

会員市町村・土地改良区並びに関係機関の皆様には、日頃から本会の運営にご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

本年2月21日の第61回通常総会において、任期満了に伴う役員の改選が行われ、理事に選任いただきました。その後、選任されました第22期役員・監事の方々の互選会において、私が4月1日より茨城県土地改良事業団体連合会第5代会長に選任され、就任いたしました。大変名誉なことであるとともに、その重責に身が引き締まる思いであります。農業農村の基盤づくりであります土地

改良事業の推進に全力で取り組んでまいり所存でありますので、ご指導・ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。

さて、約30年間続いた「平成」の元号が5月1日から「令和」と改元され、新たな輝かしい時代の幕開けとなります。我々水土里ネットは、先人達のたゆまぬ努力により維持・活用されてきた農地・農業用排水路等の貴重な地域資源を良好な状態で、次世代に継承していく責務があります。

この責務の遂行に不可欠な国の農業農村整備関係予算としては、平成30年度補正予算と平成31年度当初予算を併せて、6,451億円となっており、臨時・特別措置予算を除いても、5,905億円であり、平成21年度の大幅予算削減前を上廻る額を確保することができました。しかしながら、当初予算だけでは、大幅削減前の76%に留まっております。

安定的・計画的な事業執行のために、当初予算の確保に向けて、全力を尽くしてまいりたいと考えております。

本会といたしましては県と連携し、又、農林水産省や財務省及び県内選出の衆参国會議員の先生方のお力添えをいただき、当初予算における必要予算額の確保を目指して要望活動を実施したいと考えております。

また、本年4月1日、土地改良法の一部を改正する法律が施行されました。その中で土地改良区での、定款・規約・規程の改正例や、複式簿記導入に関しての資産評価など、実務的かつ詳細な内容が示されており、会員の皆様には詳細な情報が入り次第、提供したいと考えております。

今後も関係機関と連携を図りながら、本県農業農村整備事業の安定的・計画的な実施を積極的に推進し、農家所得の向上や農村地域の活性化に貢献する所存でございます。

結びに、会員の皆様並びに関係機関の皆様のご健勝とご発展を祈念申し上げまして、就任の挨拶とさせていただきます。

就任・新年度のご挨拶



茨城県土地改良事業団体連合会
専務理事
根 本 力

私こと、この度、茨城県土地改良事業団体連合会専務理事に就任致しました根本でございます。就任・新年度にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

会員の皆様方には、日頃から土地改良連合会の運営につきまして、特段のご指導、ご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨今の農業農村を取り巻く情勢は、農業従事者の高齢化、減少等により、農地や農業用水路等土地改良施設の維持管理が困難になるなど、安定した営農を続けることが危ぶまれる事態となっております。

このような中、新たな食料・農業・農村基本計画に掲げられた「強い農業」と「美しく活力ある農村」を実現するためには次世代の担い手が、農業を魅力ある産業として捉えられるようにしていく必要があります。

そのためには、生産性や付加価値の向上に取り組み、所得をアップさせる事が重要であり、農地の集積、集約、大区画化、汎用化等の農地整備を速やかに進めていかなければなりません。さらに、安心して営農が続けられるよう、将来を見越した適時適切な農業水利施設等の補修・更新や大規模地震や気候変動による豪雨災害が多発する中、地域住民の生命と財産を守るため、ため池等の耐震化や洪水被害防止対策などの農村地域の防災・減災対策を推進していかなければなりません。

また、一昨年9月、農地中間管理機構と連携した農業者の費用負担を求めないほ場整備事業やため池等の耐震化を迅速に進める事業の創設等を盛り込んだ改正土地改良法が施行され、昨年6月に土地改良区の組織・運営に関する改正がなされた土地改良法が4月1日より施行されております。

本会といたしましては、これらの変化を上手に活用し、土地改良事業をより積極的に推進する役割を果たしていかななくてはならないと考えております。

なお、事業を実施していくためには、必要な予算の確保が大変重要でありますことから、関係機関と引き続き連携を図りながら、皆様のご支援、ご協力を得て予算の確保を図ってまいります。

また、本会の組織運営におきましては、業務の効率化を図り、皆様のご期待に迅速に応えられるよう努めてまいります所存でございます。

結びになりますが、会員の皆様の益々のご発展とご健勝をご祈念し、今後とも会員皆様からのなお一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申しあげまして、就任及び新年度のご挨拶といたします。

就任・新年度のご挨拶



茨城県農林水産部長
今野 憲太郎

このたび、茨城県農林水産部長を拝命しました今野でございます。

茨城県土地改良事業団体連合会及び会員の皆様には、日頃より本県の農業・農村の振興に多大なる御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

本県は、広大で肥沃な農地や首都圏に位置する地理的優位性などの強みを背景に、県内各地で品質に優れた農作物が豊富に生産されており、平成29年において品目別農業産出額が全国第1～3位の農産物が29品目あるなど、「食の宝庫」として日本の食料マーケットを支えているところです。

しかしながら、農業を取り巻く情勢は、農業従事者の高齢化や減少、耕作放棄地の増大、人口減少に伴う国内市場の縮小に加え、グローバル化の急速な進展など、極めて厳しい環境に置かれております。

こうした中、国では、農林水産業の所得向上を実現するため、政策改革のグランドデザインとして策定した「農林水産業・地域の活力創造プラン」を昨年11月に改訂し、輸出促進等に向けた情報提供・支援の強化や、先端技術の現場実装の推進、農地中間管理機構の仕組みの改善と農地の集積・集約化を支援する体制の一体化を新たに行うこととしております。

一方、県では、昨年11月に策定した「茨城県総合計画～新しい茨城への挑戦～」において、新しい豊かさへのチャレンジとして「強い農林水産業の実現」を掲げ、意欲ある農業者のマインド醸成を基本に、農地の集積・集約化やICTを活用したスマート農業による生産性の向上、ブランド力強化に重点を置いた付加価値向上、需要が拡大している業務・加工用野菜の契約栽培の促進や海外への輸出拡大等による多様な販路確保など、農業所得の向上につながる取組に果敢に挑戦し、「儲かる農業」の実現に取り組んでまいります。

また、農業・農村整備に関する取組については、水田の大区画化や汎用化、畑地の区画整理やかんがい施設の整備、老朽化した農業水利施設の長寿命化対策、防災・減災対策の強化による農業の生産基盤の強化を図りますとともに、農業・農村が有する多面的機能の維持・発揮などによる美しく元気な農山漁村の創生に力を注いでまいります。

県といたしましては、今後とも、日本の食を支え、全国をリードし、世界に羽ばたく農林水産業の実現に向けて、全力で取り組んでまいりますので、皆様方の一層の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、茨城県土地改良事業団体連合会の今後ますますの御発展と会員の皆様の御活躍をお祈り申し上げます。挨拶といたします。

就任・新年度のご挨拶



茨城県農林水産部
農地局長
石井昌広

このたびの人事異動により、茨城県農林水産部農地局長を拝命しました石井でございます。

皆様方には、日頃より本県の農業・農村の振興に対しまして、格別なる御理解と御協力を賜り、心より感謝申し上げます。

まず、国の平成31年度予算につきまして、全体の公共予算が頭打ちとなっている中、農業農村整備事業関係予算は昨年度比約114%に増額されました。さらに、平成30年度補正予算を加えると、大幅に削減された平成21年度当初予算を上回るまで回復したところですので。これは何より、茨城県土地改良事業団体連合会をはじめ会員の皆様が、地元の切実な声や農業農村整備事業の効果を国に届けていただいた結果であり、重ねて感謝申し上げますとともに、引き続き御尽力を賜りますようお願いいたします。

さて、県では、昨年11月に「活力があり、県民が日本一幸せな県」を基本理念とした「茨城県総合計画～新しい茨城への挑戦～」を策定し、農業の成長産業化や未来の農業のエンジンとなる担い手づくり、美しく元気な農山漁村の創生などの施策を掲げ、「儲かる農業」の実現を目指すこととしております。

農業農村整備に関しましては、「競争力強化のための基盤づくり」としての生産性の高い水田や高品質な青果物を安定供給する畑地の整備、「農村地域の強靱化・インフラ長寿命化」として農業水利施設の計画的な長寿命化や農村地域の強靱化に向けた防災・減災対策、「美しく元気な農村づくり」として多面的機能の維持・発揮の促進や豊かで住みやすい農村環境の推進などに取り組んでまいります。

また、平成31年4月1日に改正土地改良法が施行され、土地改良区における複式簿記の導入や、員外監事の設置義務化のほか、耕作者で事業参加資格がないものを准組合員とする制度が新設されるなど、土地改良区のあり方が大きく見直されたところです。このため、県といたしましては、茨城県土地改良事業団体連合会と連携しながら、各土地改良区が改正土地改良法に、適切に対応していただけますよう支援してまいります。

今後も、「活力があり、県民が日本一幸せな県」を目指して、皆様と一体となって挑戦していきたいと考えておりますので、茨城の農業・農村を支える会員の皆様におかれましても、なお一層の御支援、御協力をお願い申し上げます。

結びに、茨城県土地改良事業団体連合会の益々の御発展と会員の皆様の御健勝と御多幸を心からお祈りいたしまして、新年度の挨拶といたします。

連合会第61回通常総会開催



去る2月21日(木)水戸市「ホテルレイクビュー水戸」において、水土里ネット茨城（茨城県土地改良事業団体連合会）の第61回通常総会を関係者約220名を参集し開催した。

総会に先立ち横山副会長は、「昨年、7月27日に本会の山口会長が逝去されました。10月23日には高城理事が逝去されました。お二人の功績をたたえ謹んで哀悼の意を捧げ、ご冥福をお祈りいたします。また、昨年度は西日本豪雨、北海道胆振東部地震、大阪北部地震など、各地の土地改良施設に甚大なる被害をもたらした災害に加え、29個もの台風の発生や、災害級の暑さといわれた猛暑であった

りと大変な一年でありました。被災された方に心よりお見舞い申し上げます。

（中略）また、国において農業農村整備事業予算は、平成30年度補正と平成31年度当初を合わせて、6,451億円の予算確保が見込まれております。これは前年の5,800億円を大きく越える水準であり、国、県、国会議員の方々、県内土地改良区の関係者の皆様方には予算確保に向けてお力添えを頂きましたこと、心よりお礼を申し上げます。本会といたしましても、更なる技術力の向上を図りながら、各種施策の円滑な推進に、貢献していくとともに、今後も、会員の皆様、並びに関係機関との連携を図りながら、引き続き農業農村整備事業を、推進して参る所存でございます。ご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。」と挨拶した。

引き続き土地改良功労団体及び功労者の表彰が行われ、4団体と6名の個人並びに本会の職員2名に対し、表彰状が授与された。

続いて、来賓として大井川和彦茨城県知事、川津隆県議会議長、浅川京子農林水産省関東農政局長、田所嘉徳衆議院議員、岡田広参議院議員、宮崎まさお都道府県土地改良事業団体連合会会長会議顧問の祝辞をいただき、その後、来賓の紹介と祝電が披露された。

このあと、村松建一玉造南部土地改良区理事長が議長に就いて議事に入り、提出した議案第1号～第9号がすべて原案通り可決承認された。

なお、議案第9号においては、任期満了に伴う役員の改選を行った。

また、閉会前には、駆けつけた上月良祐参議院議員より祝辞をいただいた。

◆土地改良功労（団体）表彰地区

潮来市土地改良区（鉾田管内） 出島東部土地改良区（土浦管内） 岩井土地改良区（境管内）

◆土地改良区合併（団体）表彰地区

玉里土地改良区（水戸管内）

◆土地改良功労者（個人）表彰者

関 忠男（有ヶ池江下土地改良区事務局長）

塚田信子（笠間市土地改良事業運営協議会主査）

浅野久恵（高浜入土地改良区事務員）

中山博正（関城東部土地改良区理事長）

飯塚芳之（霞ヶ浦用水土地改良区徴収課主査）

関口 明（大山沼土地改良区機関手）

◆連合会永年勤続表彰者（30年勤続）

大場景次（本所 総務経理課）

◆連合会永年勤続表彰者（20年勤続）

菊地満弘（県西事業所 農業農村整備課）



議長 玉造南部土地改良区 村松 建一 理事長

平成31(2019)年度 第1回理事会開催

平成31年4月2日(火)水戸市宮町の「ホテルレイクビュー水戸」において、水土里ネット茨城(茨城県土地改良事業団体連合会)の平成31年度第1回理事会が開催された。

議事に先立ち、平成31年2月21日に開催された第61回通常総会において、任期満了に伴う役員の改選が行われ、その後、互選会により正副会長、専務理事、総括監事に互選された第22期役員の紹介があり、次に茨城県より来賓として出席した石井農地局長はじめ県農林水産部農地局幹部が紹介された。

理事会の順序に従い、会長挨拶として葉梨会長より、「茨城県農林水産部農地局のご指導の下、本会の適正な運営に務めて参りますので、皆様方のさらなるご協力、ご支援を賜りますようお願いしたい。」と挨拶されました。

続いて、来賓挨拶として県を代表して石井農地局長より挨拶されました。

根本専務理事による業務報告の説明の後、葉梨会長を議長として議事に入り、第1号議案・平成31(2019)年度土地改良推進指導事業計画(案)について、上程され、全会一致で可決承認された。

本会の第22期役員は下記のとおりである。

(H31.4.2現在)

役名	氏名	所属役職名	役名	氏名	所属役職名
会長	葉梨 衛	木原土地改良区理事長、県議会議員	理事	倉持 悦典	福岡堰土地改良区理事長
副会長	横山 忠市	麻生東部土地改良区理事長	同	谷中 清彦	河間土地改良区理事長
同	赤城 正徳	村田村外三ヶ村土地改良区理事長	同	人見 隆	鰐川土地改良区理事長
専務理事	根本 力	学識経験者	同	立原 昇	中妻地区土地改良区理事長
理事	島田 穰一	石岡台地土地改良区理事長、小美玉市長	同	篠崎 惣壽	高田土地改良区理事長
同	大久保太一	常陸太田市長	同	木村 敏文	坂東市長、立川土地改良区理事長
同	山口 伸樹	笠間市長	同	大部 勝規	高萩市長
同	小林 宣夫	茨城町長	同	菊池 博	下妻市長、霞ヶ浦用水土地改良区理事長
同	大橋 幸雄	岡堰土地改良区理事長			
同	渡邊 登	清明川土地改良区理事長	総括監事	吉原 光夫	江連八間土地改良区理事長
同	下田 欽嗣	五霞土地改良区理事長	監事	雨谷 卓美	渡里台地土地改良区理事長
同	飯嶋 要	岩崎江堰土地改良区理事長	同	関川 忠雄	一の瀬上流土地改良区理事長

農業基盤整備資金の金利改定について

(株)日本政策金融公庫(旧農林漁業金融公庫)が貸し出す農業基盤整備資金の貸付金利が、平成31年4月18日以降下記のとおり改定されました。

記

(単位:%)

区 分	利率一覧(平成31年4月18日現在)				
	融資期間にかかわらず	融資期間別(一例)			
		5年	10年	15年	20年
都道府県営補助残	0.35	—	—	—	—
団体営補助残	0.20	—	—	—	—
非補助	0.20	—	—	—	—
災害復旧	—	0.16	0.16	0.19	0.20

全国水土里ネット総会及び表彰式開催



挨拶する二階俊博全土連会長

全国水土里ネット（全国土地改良事業団体連合会）の全国水土里ネット表彰式（第60回土地改良功労者等表彰式並びに農業農村整備優良地区コンクール表彰式）が去る3月26日、東京都千代田区平河町のシェーンバッハ・サポーにて開催された。

全国土地改良功労者等表彰では、農林水産大臣表彰が5地区、農林水産省農村振興局長表彰が2地区、金章表彰地区が32地区、銀章表彰地区が45地区、銅章表彰地区26地区

が表彰され、また個人表彰は114名が受賞した。

農業農村整備優良地区コンクールでは、農業振興部門11地区（農林水産大臣賞2地区、農村振興局長賞4地区、全国水土里ネット会長賞では5地区）・中山間地域等振興部門5地区（農林水産大臣賞2地区、農村振興局長賞2地区、全国水土里ネット会長賞1地区）が受賞した。

引き続き、21世紀土地改良区創造運動表彰が行われ、大賞1地区、部門賞3地区（地域資源管理部門賞2地区、地域コミュニティ部門賞1地区）、さなえ賞1地区が受賞した。このうち本県からは次の団体・個人が栄誉に輝いた。

◆団体表彰

- ★金章 伊讚美ヶ原記念揚水土地改良区（理事長：岩崎唯夫）
- ★銀章 潮来市北浦湖岸土地改良区（理事長：裕田千春）
山川沼土地改良区（理事長：船橋 清）
- ★銅章 高田土地改良区（理事長：篠崎惣壽）

◆個人表彰

- ★役員の一部 辰ノ口堰土地改良区理事長 篠原勝幸
- ★職員の一部 豊田新利根土地改良区総務課長 吉原信之
茨城県土地改良事業団体連合会事務局長 安田明義

（以上、敬称略 理事長等名は平成31年3月26日現在）

また、全国水土里ネット表彰式の前の午後1時から、東京都千代田区平河町「都市センターホテル」にて、全国水土里ネット第61回通常総会が開催され、提出された第1号から第14号議案の全てが可決承認され、決議も採択された。（決議文の内容は次ページ参照）

【前列】左から篠崎理事長（高田土地改良区）、岩崎理事長（伊讚美ヶ原記念土地改良区）、裕田理事長（潮来市北浦湖岸土地改良区）、船橋理事長（山川沼土地改良区）

【後列】左から飯田専務理事（県土連）、吉原総務課長（豊田新利根土地改良区）篠原理事長（辰ノ口堰土地改良区）、安田事務局長（県土連）



受賞者の方々

決 議

全国の農村では、都市に先駆け高齢化や人口減少が進んでおり、農業従事者の高齢化、減少等により、農地、農業用水等の管理や営農の継続が困難になるなど、様々な影響をもたらすことが危惧される。

農業を次世代の担い手にとって魅力ある産業としていくためには、農地の集積・集約、大区画化、汎用化等の農地整備や将来を見越した適時適切な農業水利施設等の維持・更新が必要となっている。

加えて、全国各地でため池を含む農業水利施設等の老朽化が進行する中、昨年西日本を中心とした7月豪雨、台風第21号、さらには北海道胆振東部地震などに代表されるように、大規模地震や気候変動による豪雨災害が多発しており、国民の生命と財産を守るためにも、ため池等の耐震化や洪水被害防止対策などの農村地域の防災・減災対策の推進を通じた国土の強靱化が重要な課題となっている。

水土里ネットには、力強い農業の実現等を通じた食料の安定供給や農業・農村の多面的機能を発揮させるため、先人達のたゆまぬ努力により維持・活用されてきた農地・農業用水等の地域資源を良好な状態で次世代に継承していく責務があることから、水土里ネットが有する技術、経験、水土里情報システムなど持てる能力を最大限に発揮するため、その体制強化の推進が喫緊の課題となっている。

このような中、一昨年9月、農地中間管理機構と連携した農業者の費用負担を求めないほ場整備事業や、ため池等の耐震化を迅速に進める事業の創設等を盛り込んだ改正土地改良法が施行され、さらに、昨年6月には、土地改良区の組織・運営に関する改正土地改良法が成立したところである。これに則って、農業・農村を巡る情勢変化にしっかりと対応し、これから新たな展開を目指して進んでいくことになる。加えて、ため池の適正な管理及び保全が行われる体制を早急に整備するため、今国会で「農業用ため池の管理及び保全に関する法律案」が提出され、今後審議されることとなっている。

また、土地改良関係予算は、「闘う土地改良」の旗印の下、組織を挙げて様々な活動を行った結果、平成30年度補正予算、平成31年度当初予算及び臨時・特別の措置を含め、6,451億円を確保し、現場のニーズに応えられるようになった。それでも、そのうちに占める当初予算の割合は7割程度に留まっており、安定的・計画的な事業実施のために、当初予算での予算の確保を引き続き求めていく。

水土里ネットは、農業・農村、更には、我々自身が抱える課題をも直視し、国が示した農政の展開方向を踏まえ、女性の能力を活かしつつ積極的な貢献を果たしていく覚悟である。

以上のことを踏まえ、ここに参集した同志が「闘う土地改良」の旗印の下に、一致団結して、次の事項の実現を図り、農業農村整備を推進していくことを総会の名において決議する。

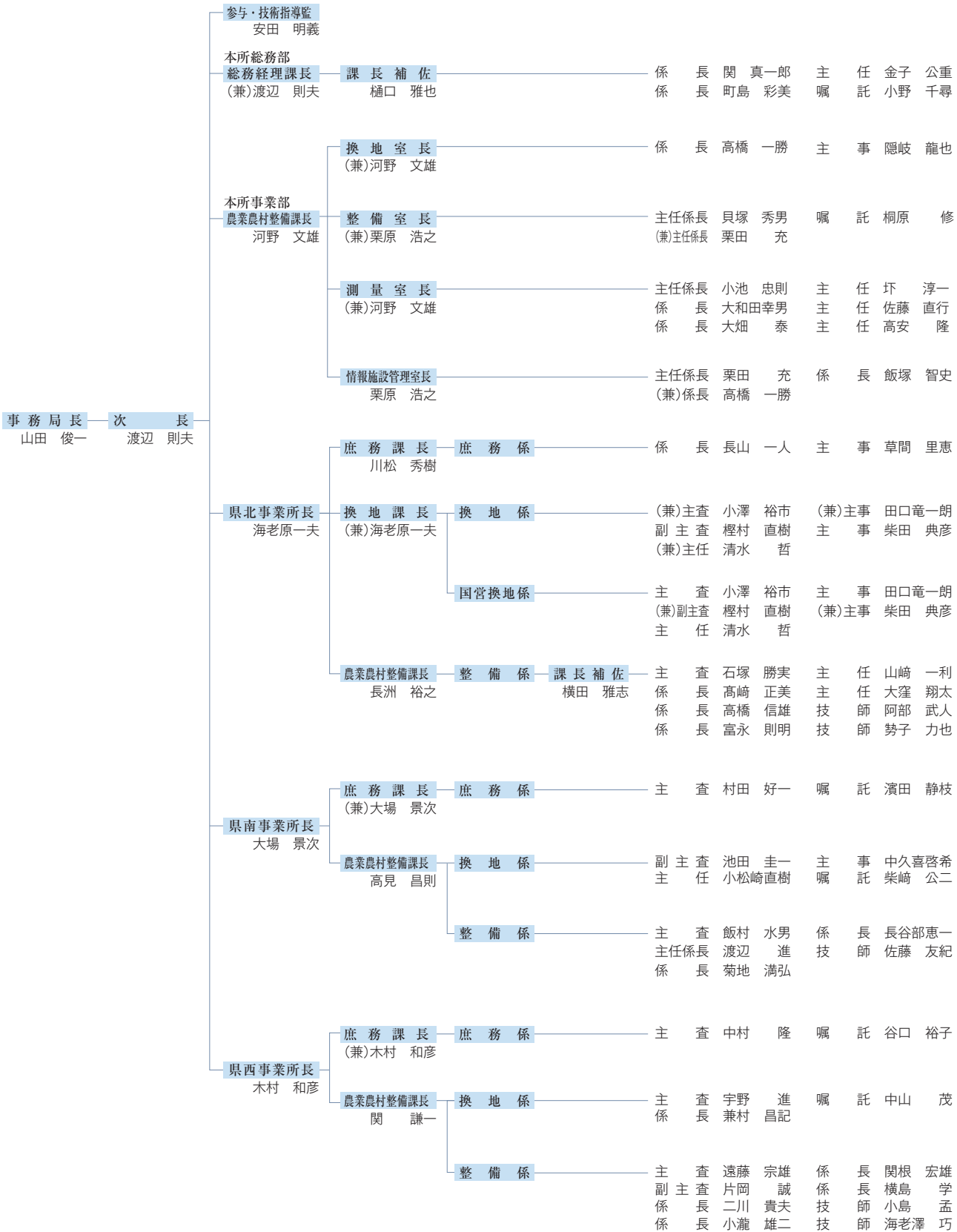
記

- 一 農業競争力の強化や国土強靱化を図るため、一昨年9月に施行された改正土地改良法を積極的に活用した事業制度の現場へのより一層の普及を図ること。また、事業実施に当たっては、水土里ネットが有する技術、知識、水土里情報システムなどを十分発揮できるよう配慮すること。
- 二 昨年6月に成立した改正土地改良法の適切な実施を図るため、その啓発普及に努めるとともに、土地改良区や組合員の声に耳を傾けながら、土地改良区の運営基盤の強化に対する支援を推進すること。また、土地改良区の円滑な運営の基礎条件である農事用電力料金の維持に向けた措置を講じること。
- 三 大規模地震や豪雨等の大規模災害からの復旧・復興を早急かつ加速的に進めること。あわせて、防災・減災、国土強靱化に資するよう、農業水利施設やため池の整備補修、改修、耐震化等に十分な支援を行うこと。また、今国会に提出されている「農業用ため池の管理及び保全に関する法律案」の早期成立を図るとともに、必要な措置を講じること。
- 四 これらの事業を円滑に行うため、平成32年度当初予算では、現場のニーズに十分応えられる規模を確保すること。

平成31年3月26日

平成31(2019)年度 茨城県土地改良事業団体連合会事務局機構図

平成31(2019)年4月1日



計 69名

「平成30年度農業農村シンポジウム」の開催



平成30年度受賞者一同

去る2月1日（金）13時30分から茨城県県民文化センターにおいて、茨城県・水土里ネット茨城（茨城県土地改良事業団体連合会）の主催により、土地改良区役職員、県担当職員、市町村担当職員、多面的機能活動組織代表等、合計321名参加のもと、「平成30年度農業農村シンポジウム」を開催した。

宇野善昌県副知事、飯田勤本会専務理事による主催者挨拶の後、土地改良功労者表彰に入り、大野土地改良区理事長・永作幸雄氏、羽賀沼土地改良区理事長・村山文雄、江川土地改良区理事長・齋藤卓氏、岩井土地改良区理事長・相川一雄氏の4名が茨城県知事賞を受賞した。

また、第11回茨城県美しい水土里づくり優良活動表彰（多面的機能支払交付金部門、中山間地域等直接支払制度部門）が行われ右記団体が表彰された。

続いて、「地域の資産を守る土地改良区のこれからのありかた」と題して愛知県安城市、明治用水土地改良区・竹内清晴氏より講演が行われた。

土地改良法改正や複式簿記の導入、准組合員制度などの説明に加え、その対策や今後の土地改良区のあり方について話していただき、講演は盛況のうちに幕を閉じた。



講演を行う竹内明治用水土地改良区専務理事

〈多面的機能支払交付金部門〉

- ◎茨城県知事賞 泉・南部巴川流域守る会（笠間市）
- 茨城県土地改良事業団体連合会長賞 潮来市北浦湖岸自然を守る会（潮来市）
- ◆茨城県農林水産部長賞
 - ・下国井住環境保全の会活動組織（水戸市）
 - ・沼尾自然を守る会（鹿嶋市）
 - ・借宿生子地区農村保全協議会（坂東市）
 - ・下山川地区資源保全協議会（八千代町）
 - ・木田余地区資源保全（土浦市）
 - ・小貫地域資源保全会（常陸大宮市）
 - ・青古新田活動組織（つくばみらい市）

〈中山間地域等直接支払制度部門〉

- ◎茨城県知事賞 袋木屋実賀（常陸大宮市）
- 全国山村振興連盟茨城県支部長賞 平山集落（日立市）
- ◆茨城県農林水産部長賞 鳥名集落（高萩市）

平成30年度多面的機能支払交付金 技術研修会・優良活動事例発表会

去る3月6日(水)茨城県立県民文化センター「大ホール」において、茨城県ふるさと多面的機能推進協議会主催による技術研修会・優良活動事例発表会が多面的機能支払活動組織、土地改良区職員、県職員、市町村職員等、約1,050名を参集し開催されました。

協議会会長である行方市経済部長 平山会長による主催者挨拶の後、初めに茨城県農林水産部農地局農村計画課石積主任より「多面的機能支払交付金制度の見直しについて」の説明がありました。技術研修会では、関東農政局土地改良技術事務所 保全技



術課の坂本係長より「コンクリート開水路の変状と簡易補修について」の講義の中でコンクリート開水路等に見られる主な変状と点検・診断のポイント、簡易補修における施工方法について紹介をいただきました。優良活動事例発表会は、去る2月1日(金)当県民文化センター「小ホール」で開催された農業農村シンポジウムの「第十一回茨城県美しい水土里(みどり)づくり優良活動表彰」におきまして、「積極的な農地維持活動と美しい景観を育む地域活動」が評価され「茨城県知事賞」を受賞されました「泉・南部



巴川流域守る会」、「共同作業による遊休農地の積極的な解消と地域活性化のための交流活動」が評価され「茨城県土地改良事業団体連合会長賞」を受賞されました「潮来市北浦湖岸自然を守る会」からの発表が行われました。

参集した活動組織の方々からは、技術研修会及び事例発表の活動内容について今後参考にしたいとの声が多数ありました。

土地改良区の維持管理計画の変更手続の簡素化について

農林水産省では、維持管理計画の変更手続の合理化を図る観点から、平成31年4月1日以降、土地改良区の組合員の同意省略の範囲を見直すこととしております。(下記の通り)

これにより、土地改良区は、施行地域を変更する場合を除き、維持管理計画書の変更について組合員の同意徴集手続を省略することが可能となります。

今後、土地改良区において、維持管理計画の変更手続が適切に行われるよう取組をお願いします。

記

平成31年2月

農村振興局 土地改良企画課

維持管理計画の変更手続の見直し（同意省略の拡大）について

1 改正のポイント

維持管理計画の変更手続の合理化を図る観点から、土地改良区の維持管理計画の変更手続については、施行地域を変更する場合を除き、組合員の同意手続を省略し、総会又は総代会の議決により、都道府県知事の認可を受けることができるようになります。

2 改正の背景

土地改良区が維持管理計画の重要な部分を変更する場合には、組合員の2/3以上の同意を得る必要がありました。しかし、土地改良区の場合は、維持管理に関しては、総会又は総代会の議決を経ることで、直接又は間接に組合員の同意を得ていることから、組合員の意思確認手続が二重となっていました。

このため、土地改良区の維持管理計画の変更手続の合理化を図る観点から、維持管理計画を変更する場合（施行地域を変更する場合を除く。）に必要とされていた組合員の同意手続を省略できるよう省令等の改正を行います。

3 改正のスケジュール

平成31年4月1日施行予定

全国水土里ネット主催 「ふるさとの田んぼと水」子ども絵画展 2018



未就学児から小学校6年生まで、全国から応募総数6,284点、茨城県から26点の応募があり、厳正なる審査の結果、入賞24点、入選163点、団体賞47点が選定され、本県では1名が入選しました。

本来小さな存在であるアカハライモリを手前に大きく持ってきたことにより、後ろの田植えの風景を引き締めて見せています。また、鮮やかな色合いで、丁寧に細かい所まで描かれています。

入選

「田植えを見守るアカハライモリ」
古河市立上辺見小学校6年 大河原 凜太郎

第10回大好きいばらきミドリ(水土里)子ども絵画コンクール表彰式の開催

去る3月2日(土)茨城県立図書館視聴覚ホールにおいて、茨城県と水土里ネット茨城(茨城県土地改良事業団体連合会)主催により、「第10回大好きいばらきミドリ(水土里)子ども絵画コンクール」の表彰式が行なわれました。

本県の農業・農村について子どもたちの関心を高め、重要性について理解を深めてもらうため、広報活動の一環として絵画コンクールを実施しています。

応募作品732点の中から、茨城県知事賞、茨城県議会議長賞、茨城県土連会長賞、茨城県教育委員会教育長賞をはじめ計48作品が選ばれました。

今回、茨城県土連会長賞に選ばれたのは、「田んぼの学校」の活動で学校のみならず一緒に田植えをしている様子を描いた作品でした。みんなで、楽しそうに手植えする様子が良く分かり、1人1人の生き生きとした表情が細かく描かれていました。



茨城県知事賞

「南瓜の収穫をする父」
古河市立駒込小学校
武井 元希



茨城県議会議長賞

「八坂神社のおまつり」
守谷市立松前台小学校
秋元 凜之介

各賞	氏名	タイトル	学校名	学年
知事賞	武井 元希	南瓜の収穫をする父	古河市立駒込小学校	6年
県議会議長賞	秋元凜之介	八坂神社のおまつり	守谷市立松前台小学校	4年
土連会長賞	秋元絢之介	みんなと稲	守谷市立松前台小学校	5年
教育長賞	南 由奈	コウノトリが育む農村	取手市立取手小学校	6年
農林水産部長賞	中村 優那	トウモロコシをとったよ	城里町立石塚小学校	5年
優秀賞	田村 沙恵	サトイモ収穫	守谷市立黒内小学校	5年
優秀賞	新山 浩史	畑とおばあちゃん	龍ヶ崎市立久保台小学校	6年
優秀賞	池田 夕莉	お父さんの仕事	鉾田市立鉾田北小学校	6年



奨励賞 受賞者

県農林水産部農地局の人事異動

農林水産部

4月1日付

新補職名	氏名	旧勤務課所
農林水産部長	今野憲太郎	農林水産部次長
農地局長	石井 昌広	農林水産部農地局農村計画課長

農林水産部農地局農村計画課

新補職名	氏名	旧勤務課所
課長	豊田雄一郎	農林水産部農地局農地整備課長
首席検査監	深谷 洋二	県北農林事務所土地改良部門長
技佐兼課長補佐(技術総括)	渡辺 邦夫	県南農林事務所事業調整課長
課長補佐(総括)	石塚 晃彦	農林水産部農業政策課課長補佐
課長補佐	大島 孝一	産業戦略部中小企業課課長補佐
課長補佐	山口 広隆	県民生活環境部国際交流課課長補佐
課長補佐	雨澤 英治	県南農林事務所工務課長
課長補佐	阿部 幸浩	鹿行農林事務所工務課長
係長	日比 正人	県西農林事務所係長
係長	加藤 宗英	県南農林事務所係長
主任	小口耕太郎	県央農林事務所主任
主任	黒羽なつき	県北農林事務所主任
主任	鈴木 理恵	新規採用
主任	田村 侑大	県央農林事務所主任
主事	大和田康洋	総務部自治研修所主事
技師	中村 祐介	稲敷土地改良事務所技師
主事	磯崎 愛衣	会計事務局会計管理課主事

農林水産部農地局農地整備課

新補職名	氏名	旧勤務課所
課長	高野 充	農林水産部農地局農地整備課国営事業推進室長
国営事業推進室長	酒井 敏博	農林水産部農地局農地整備課技佐兼課長補佐(技術総括)
技佐兼課長補佐(技術総括)	山藤 郁夫	県央農林事務所事業調整課長
課長補佐(総括)	中村 仁昭	農林水産部農業政策課協同組合検査監
課長補佐	大賀 真樹	県北農林事務所工務課主査
係長	北原亜希子	保健福祉部障害福祉課係長
係長	庄司 早苗	総務部管財課係長
係長	小長谷 暁	農林水産部農地局農地整備課主任
係長	川内 太郎	農林水産部農地局農地整備課主任
係長	伊東 太一	稲敷土地改良事務所主任
主任	堀江 涉	鹿行農林事務所主任
主任	高場 真一	鹿行農林事務所主任
主任	石井 直紀	土木部都市局下水道課主任
主事	岩崎 仁哉	新規採用

県北農林事務所 土地改良部門

新補職名	氏名	旧勤務課所
部門長	檜山 敦	県南農林事務所土地改良部門長
係長	鹿志村 聡	鹿行農林事務所係長
主任	佐藤 稔	県南農林事務所主任
技師	飯田 睦	鹿行農林事務所技師
技師	長本 真弥	新規採用

県北農林事務所 高萩土地改良事務所

新補職名	氏名	旧勤務課所
係長	岡野 英弘	土木部常陸太田工事事務所係長

県央農林事務所 土地改良部門

新補職名	氏名	旧勤務課所
技佐	飯岡 輝夫	鹿行農林事務所長
事業調整課長	井坂 誠博	農林水産部農地局農村計画課課長補佐
工務課長	荒井 伸之	県央農林事務所那珂川沿岸農業水利事業推進課長
那珂川沿岸農業水利事業推進課長	光田 栄	境土地改良事務所工務課長
係長 (那珂川沿岸農業水利事業推進協議会駐在)	金澤 大介	鹿行農林事務所係長
主任	秋山 勉	農林水産部県北家畜保健衛生所主任
主任	武石 敏将	県北農林事務所主任
主任	渡邊翔香偉	農林水産部農地局農村計画課主任
技師	大野 真敬	県西農林事務所技師
技師	大山 直人	境土地改良事務所技師
技師	鈴木 大河	新規採用

鹿行農林事務所 土地改良部門

新補職名	氏名	旧勤務課所
部門長	大塚 正美	稲敷土地改良事務所長
工務課長	亀山 貴宏	県南農林事務所企画調整課長
係長	細谷 和広	県南農林事務所係長
係長	森 勇喜夫	県北農林事務所係長
係長	斉藤 伸之	県西農林事務所係長
主任	小澤 直貴	農林水産部農地局農地整備課主任
技師	谷 有紗	境土地改良事務所技師
主事	柴沼 一輝	新規採用
技師	内田 拓真	新規採用

県南農林事務所 土地改良部門

新補職名	氏名	旧勤務課所
部門長	滑川 健司	鹿行農林事務所土地改良部門長
事業調整課長	坂場 祐二	県央農林事務所工務課長
工務課長	岡野 祐一	農林水産部農地局農地整備課課長補佐
用地管理課長	鈴木 幹人	県西農林事務所用地管理課長
検査監	猪瀬 直哉	県南農林事務所主査
検査監 (稲敷土地改良事務所駐在)	木村 徹	境土地改良事務所係長
副主査	坂本 賢	県央農林事務所農業振興課長
係長	二重作将雄	農林水産部農地局農村計画課係長
主任	白井 宏	県南農林事務所主任
主任	祖父江亮介	県央農林事務所主任
主任	内村 伸矢	農林水産部農地局農村計画課主任
技師	齋藤 駿	県西農林事務所技師
技師	阿久津康平	新規採用

県南農林事務所 稲敷土地改良事務所

新補職名	氏名	旧勤務課所
所長	金 徹	県西農林事務所事業調整課長
契約用地課長	佐藤 寿洋	土木部土浦土木事務所契約課長
工務課長	寺島 潤	県南農林事務所検査監
主査	中山 英治	農林水産部農地局農村計画課首席検査監
係長	亀山 貴子	農林水産部農地局農村計画課係長
係長	糸賀 美德	土木部竜ヶ崎工事事務所係長
主任	戸田 和里	農林水産部農業政策課主任
主事	渡邊健太郎	新規採用
主事	小田倉 光	新規採用
技師	金子 棟哉	新規採用

県西農林事務所 土地改良部門

新 補 職 名	氏 名	旧 勤 務 課 所
部門長	関口 勝行	農林水産部農地局農村計画課技佐兼課長補佐(技術総括)
事業調整課長	永瀬 啓一	県西農林事務所霞ヶ浦用水推進課長
用地管理課長	鈴木 祥一	県西農林事務所農地調整課長
霞ヶ浦用水推進課長	佐藤 潔	農林水産部農地局農村計画課課長補佐
主査	浅野 功	県西農林事務所係長
係長	西村 正巳	県央農林事務所係長
係長	荒井 恵子	農林水産部企画員
係長	大羽 孝司	農林水産部農地局農地整備課係長
係長	葛西 直哉	県西農林事務所主任
主任	綿引 直哉	農林水産部農地局農地整備課主任
主任	時野谷 智	土木部筑西土木事務所主任
技師	松本瑛実香	稲敷土地改良事務所技師
技師	高橋航太郎	新規採用

県西農林事務所 境土地改良事務所

新 補 職 名	氏 名	旧 勤 務 課 所
工務課長	菊池 智士	県央農林事務所事業調整課主査
係長	加藤 美穂	鹿行農林事務所係長
係長	根本 雅之	保健福祉部古河保健所係長
主任	藤本 裕昭	県央農林事務所主任
技師	今川なつみ	県西農林事務所技師
技師	飯塚 昌広	新規採用

連合会の人事異動

本所

4月1日付

新 補 職 名	氏 名	旧 勤 務 課 所
事務局長	山田 俊一	県北事業所長兼庶務課長
次長兼総務部総務経理課長	渡辺 則夫	本所事業部農業農村整備課長兼換地室長兼測量室長
参与・技術指導監	安田 明義	再雇用
総務部総務経理課課長補佐	樋口 雅也	本所総務部総務経理課主任係長
総務部総務経理課係長	関 真一郎	県北事業所庶務課庶務係係長
総務部総務経理課係長	町島 彩美	本所総務部総務経理課主任
総務部総務経理課嘱託	小野 千尋	新規採用
事業部農業農村整備課長兼換地室長兼測量室長	河野 文雄	県北事業所農業農村整備課長
事業部農業農村整備課換地室主事	隠岐 龍也	本所総務部総務経理課主事
事業部農業農村整備課測量室主任係長	小池 忠則	本所事業部農業農村整備課測量室係長
事業部農業農村整備課測量室係長	大畑 泰	本所事業部農業農村整備課測量室主任
事業部農業農村整備課整備室主任係長	貝塚 秀男	本所事業部農業農村整備課整備室係長
事業部農業農村整備課情報施設管理室兼整備室主任係長	栗田 充	本所事業部農業農村整備課情報施設管理室兼整備室係長

県北事業所

新 補 職 名	氏 名	旧 勤 務 課 所
県北事業所長兼換地課長	海老原一夫	県北事業所換地課長
庶務課長	川松 秀樹	県北事業所庶務課庶務係課長補佐
庶務課庶務係係長	長山 一人	県西事業所庶務課庶務係係長
換地課国営換地係兼換地係主査	小澤 裕市	再雇用
農業農村整備課長	長洲 裕之	県西事業所農業農村整備課整備係主任係長
農業農村整備課整備係課長補佐	横田 雅志	県北事業所農業農村整備課整備係主査兼主任係長
農業農村整備課整備係主査 (再雇用)	石塚 勝実	本所参与・技術指導監 (再雇用)
農業農村整備課整備係係長	富永 則明	県北事業所農業農村整備課整備係主任
農業農村整備課整備係主任	山崎 一利	県西事業所農業農村整備課整備係主任
農業農村整備課整備係技師	勢子 力也	新規採用

県南事業所

新 補 職 名	氏 名	旧 勤 務 課 所
県南事業所長兼庶務課長	大場 景次	本所次長兼総務部総務経理課長
庶務課庶務係主査 (再雇用)	村田 好一	本所総務部総務経理課主査 (再雇用)
農業農村整備課長	高見 昌則	県南事業所農業農村整備課整備係主任係長
農業農村整備課換地係副主査 (再雇用)	池田 圭一	本所事業部農業農村整備課換地室副主査 (再雇用)
農業農村整備課換地係嘱託 (再雇用)	柴崎 公二	県南事業所農業農村整備課換地係主査 (再雇用)
農業農村整備課整備係主査 (再雇用)	飯村 水男	県北事業所農業農村整備課整備係主査 (再雇用)
農業農村整備課整備係係長	菊地 満弘	県西事業所農業農村整備課整備係係長

県西事業所

新 補 職 名	氏 名	旧 勤 務 課 所
県西事業所長兼庶務課長	木村 和彦	県南事業所農業農村整備課長
庶務課庶務係主査	中村 隆	再雇用
農業農村整備課長	関 謙一	県西事業所農業農村整備課換地係主任係長
農業農村整備課換地係主査	宇野 進	再雇用
農業農村整備課換地係嘱託 (再雇用)	中山 茂	県西事業所農業農村整備課換地係副主査 (再雇用)
農業農村整備課整備係副主査	片岡 誠	再雇用
農業農村整備課整備係係長	二川 貴夫	県北事業所農業農村整備課整備係係長
農業農村整備課整備係技師	海老澤 巧	新規採用

退職者

3月31日付

氏 名	退 職 時 勤 務 課 所
安田 明義	事務局長
小澤 裕市	県南事業所長兼庶務課長
中村 隆	県西事業所長兼庶務課長
宇野 進	県西事業所副参事兼農業農村整備課長
片岡 誠	県西事業所農業農村整備課課長補佐